

授業科目名	情報メディアの活用(2100505)		
時間割名	情報メディアの活用(43112)		
時間割担当	米川雅士		
実施期	後期	単位数	2 選択
曜日・時限	木・3		

授業の目標・概要

情報社会に生きる児童生徒が多様なメディアから必要な情報を収集選択し、生活・ビジネスに活用できる情報活用能力の育成を、学校図書館と学習指導の面から解説する。CD-ROM、DVD-ROMなどの電子メディア、インターネットを通じて、データベースの活用について実際の活用について考察して、文字・画像・音声情報に関わる情報化時代の著作権についても触れる。

学習の到達目標

学校教育における情報メディアの活用、および著作権に関する理解を深める。コンピュータの仕組み、光ディスクの原理などの理工学的な意味を理解する。インターネット検索の仕組み、活用について理解する。

授業方法・形式

- 1.それぞれの学習テーマに対して、テキストや補助資料を活用しながら授業を進めていく。
- 2.必要に応じて、よりよい指導法などに関するディスカッションを行う。

授業計画

- 第1回 高度情報社会と人間
情報とメディアの定義、メディアの種類、高度情報社会における学校図書館の役割
- 第2回 メディアの歴史
文字情報とメディア、粘土板から紙へ、新しいメディアの登場
- 第3回 インターネットと検索技術(1)
インターネットの歴史、インターネットの機能、Web pageとリンク機能
- 第4回 インターネットと検索技術(3) 情報検索演習
- 第5回 インターネットと検索技術(3) 情報検索演習
- 第6回 半導体とコンピュータの仕組み
半導体の種類とその利用、コンピュータ・システムの構成
- 第7回 ディスク系の電子メディアの利用
CD-ROM、DVD-ROMの原理とその利用、その他のディスク系メディアの利用
- 第8回 メディアの種類と情報の性質
Web page、ディスク系のメディア、雑誌・新聞、図書における情報の性質
- 第9回 情報メディアと著作権(1)
知的財産権法における著作権、著作物の定義、著作権の発生と保護
- 第10回 情報メディアと著作権(2) 著作権の制限、図書館における著作権
- 第11回 情報メディアと著作権(3)
著作権侵害と刑事上・民事上の措置、電子メディアと著作権、クリエイティブ・コモンズと著作権問題のゆくえ
- 第12回 情報社会の光と影(1) 情報社会がもたらした利便性と情報モラル(ネチケット)
- 第13回 情報社会の光と影(2)
有害サイトとフィルタリング、ネットワークの不正使用、コンピュータウイルス
- 第14回 情報社会の将来 電子書籍の登場、新しいネットワーク・システムへの対応
- 第15回 これまで学んだことを振り返り、まとめを行う。

成績評価の基準

毎回の授業中に行う小レポートと毎回の課題レポートを中心に評価し、授業に対する理解度をチェックしていく。(30%)さらに、学習指導案、図書館利用計画の作成の緻密さなどを評価する。(30%)さらに学期末テストにおいて総合的な理解を確認する。(40%)

準備学習・復習及び授

- 1.パソコンの基礎リテラシーを確認しておく。
- 2.学校図書館に実際に足を運び、それぞれの工夫や特徴についてまとめる。

履修上のアドバイス及

授業時間内に伝える。

教材・教科書

教科書は使用しない。講義中に資料を配付する。

参考書

『司書教諭・学校司書のための学校図書館必携 理論と実践 改訂版』全国学校図書館協議会 監修、悠光堂